

“宇宙を視座に大人が変わる 子どもが輝く 美しい星が生まれる”【子どもと宇宙と未来をつなぐ】

今年こそ良い年に

会長 並木道義

今年こそ皆様とともに良い年にしたいと願っておりました矢先、月を追うごとにコロナの変異株が猛威を振るっています。なかなか収束せずに小さな子どもたちにも感染がみられるようになり、政府はどうどう 5 歳以上の子どもたちにもワクチン接種を進めることになりました。引き続き、会員の皆様方も常に手洗い、うがい等を心掛けいただき感染に注意していただきたいと願っております。

令和 3 年度の「宇宙の学校」事業は、全国 28 会場の主催者のみなさんと相談をしながら、状況に応じて、感染対策はもちろんのこと開催時にも感染リスクを減らすように様々な工夫を行いながら開催してまいりました。昨年は緊急事態宣言が解除され対面での活動をし始めるとまた非常事態宣言が出され、その都度、延期や中止を検討したり、オンラインなどに急速切り替えたりと主催者のみなさんとの連絡が密になった 1 年でした。

昨年度から実施しているオンラインでの会員セミナーや宇宙の学校®の地域主催者交流会で、このコロナ禍において日本全国の方々とインターネットを介して、お話やご意見を伺うことができたことは、大変貴重な時間でした。このようなオンラインでの活動も今後も継続していきたいと思っております。

ご報告となりますが、令和 4 年 1 月 22 日に理事会を開催し、これまでの 9 名の役員に加え、新たに 5 名の理事が就任しました。詳しいプロフィールを次ページでご紹介いたします。今後の活躍が期待されます。

最後に 2 月 24 日にロシアによるウクライナに対する軍事侵攻が始まりました。軍事施設のみを破壊すると言っていたロシアも日を追うごとに住宅地や病院をも破壊し、妊婦さんや小さな子どもたちまでが犠牲になっています。いかなる理由があっても、一方的にいのちを奪う行為は許されない事です。いのちの大切さをベースに子どもたちに 3 つの心を育む考えを日本や世界に発信し、地球上のすべての人々がこの考えをもとに行動してくれる事が KU-MA の願いです。一刻も早くウクライナに平和が戻り、いのちの危険に晒されない生活に戻れることを願います。



写真上 「宇宙の学校」スクーリング対面開催模様（たまプラーザ）
写真下 急遽オンラインに切り替えてのスクーリング（岡山県）

最近のコロナ禍やロシアのウクライナ侵攻に接するにあたり、「宇宙教育」の大切さを改めて痛感している。「宇宙教育」を一言で表せば、「いのちの大切さ」を気づかせる教育である。「いのち」あるものは、その「いのち」を維持し、後世に繋ぐために様々な工夫をしている。コロナウイルスであれば、次々に変異し環境に適応しようとしている。一方、人間は、「死にたくない」という思いだけでなく、「幸せになりたい」という気持ちも加わる。幸せになるためには、二つの方法があるよう思う。一つは、自分の幸せを追求するあまりに他人の幸せを奪つたり傷つけたりして達成するやり方だ。もう一つは、自分が幸せになるために自分と関わりのある人たちも幸せにしようとすることだ。

ロシアのウクライナ侵攻は、ロシアの国益を守るという大義の元、前者のやり方でロシアの「国益（幸せ）」を追求しているように思う。後者の方法をとろうとすれば周辺国と自國の国益を一緒に考え行動する必要がある。将来ある子どもの教育に携わる私たちは、常に後者の方法で「いのちの大切さ」を伝えいく必要があると改めて痛感している。同時に教育者だけでなく政治にかかる私たちは、いつもこのような視点を今以上に持つてもらう必要があると思った。

「宇宙教育」って何だろう

副会長 稲葉 茂